

絵葉書の表面から年代推定



私製はがきの使用が認可された明治33年(1900)以降、裏面に解説付きの写真などを印刷した多種多様な絵葉書が発行されました。たとえば、名勝などを写した絵葉書や建物や顕彰碑などの完成記念に作られた絵葉書、災害の状況を写し、メディアとしての性格を持つ絵葉書、商店の広告のために製作された絵葉書などがあります。こうした絵葉書からは、当時の町の様子や世相といった情報を得ることができます。

しかし、絵葉書の裏面には年代が書かれていないことが多くあり、年代を推定するのは困難な場合があります。そこで、注目すべきは住所や宛名を記入する絵葉書の表面です。【絵葉書A】は、宛名面に線がありません。これは、通信文をこの面に書くことが禁じられていた時期のもので、明治40年(1907)までのものです。同年には、【絵葉書B】のような形式になります。表面の3分の1に線が引かれ、通信文を書くスペースができました。この形式は、大正7年(1918)まで用いられ、その後、【絵葉書C】のように、表面の二分の一に線が引かれ、通信文を書くスペースが拡大しました。昭和8年(1933)になると【絵葉書D】のように「きかは便郵」から「きがは便郵」へと上部の表記が変更されました。このように、絵葉書の表面の変遷を知ることによって絵葉書が作られた年代を推定することができます。

原田二郎の企画展「絵葉書から見る近代の松阪」(会期 2024年4/23(火)~8/25(日))では、大正・昭和にかけて



【絵葉書A】

【絵葉書B】



【絵葉書C】

【絵葉書D】

発行された松阪ゆかりの絵葉書を展示していますので、是非ご来館ください。

(学芸員 扇野)

まつさか歴史文化かわら版



鯉図 二井栄逸 画

本号の表紙は、商家長谷川治郎兵衛家に伝わる「鯉図」です。作者は、大正元年(1912)に松阪市殿町に生まれ能楽師、能画家、華道青雅流家元として活躍した二井栄逸で、長谷川家との関係も深く、この鯉図の他にも栄逸の作品がいくつか残されています。

鯉は、中国黄河の急流「龍門」を登りきった鯉は龍になるという「登龍門」の伝説から、立見出

世を願う吉祥モチーフの代表格として知られています。ちなみに、日本では5月の端午の節句に鯉のぼりをあげますが、これも「登龍門」伝説が由来とされています。

長谷川家の方々が、こうしたおめでたい絵を掛けていたのも、きっと「家業の永続や繁栄の願い」という想いがあったことでしょう。

歴史文化3施設のご案内

【開館時間】
9:00~17:00 (16:30までにご入館ください)
【休館】
水曜日(祝日の場合は翌平日)/年末・年始

発行 NPO法人松阪歴史文化舎
〒515-0082 松阪市魚町1653
Phone: 0598-21-8600 (事務所)
E-mail info@rekishibunkasha.onmicrosoft.com
HP https://matsusaka-rekibun.com/

【連絡先】
◆旧長谷川治郎兵衛家
Phone: 0598-21-8600
◆旧小津清左衛門家
Phone: 0598-21-4331
◆原田二郎旧宅
Phone: 0598-23-1656



今回の展示のみどころ!

旧長谷川治郎兵衛家 長谷川家でおめでたづくし

令和6年4月9日(火)～7月7日(日)

商家長谷川家には、「鶴亀」や「松竹梅」、「恵比寿・大黒・寿老人」といった吉祥の意味をもつ図柄や文様を描いた品々が数多く伝えられています。本企画展では、同家に伝わるおめでたい品々を展示し、それらにこめられた吉祥の意味を読みといてご紹介します。

【学芸員による展示解説】

5/4(土) 6/29(土) 11時より20分程度



【三福神図】
江戸時代後期

商売繁盛を司る恵比寿天、福德開運の大黒天、夫婦円満や子宝の神として信仰の厚い布袋尊が描かれている。本資料は、長谷川家に伝わるもので、恵比寿講の際に用いられた。



【ワークショップ】水引で箸置きを作ろう体験 おめでたい梅花の箸置きをつくりませんか?

5/19(日) 13時30分～15時 定員：10名(先着順) ※入館料のみ必要

旧小津清左衛門家

商家に伝わる女性の道具展

～令和6年5月12日(日)～

嫁入り道具から江戸時代に刊行された女性用の教訓書まで、小津清左衛門家や長谷川治郎兵衛家といった松阪商人の家々に伝わる女性たちの道具などを展示します。商家の女性たちが使った華やかな道具の品々を堪能していただける内容となっています。

【学芸員による展示解説】 4/13(土) 11時より20分程度



はなだしつのもよううちかけ
【標地鶴模様打掛】
明治43年(1910)

小津家14代長子の妻民の婚礼衣装で、標地に飛翔する鶴を散らした華やかなもの

松阪の祇園祭

令和6年5月14日(火)～8月4日(日)

松阪の夏の風物詩・祇園祭は、「初午大祭」、「氏郷祭り」と並ぶ松阪三大祭のひとつで、毎年7月中旬に盛大に行われています。疫病退散を祈願したのがはじまりとされる祇園祭。その祭礼が、時代とともに移り変わる様子を貴重な資料を通してご紹介します。

【学芸員による展示解説】

6/8(土)、7/6(土) 11時より20分程度



【獅子頭】

市内本町の御厨神社に伝わる獅子頭で、祇園祭や式年遷宮時に舞われた。

【ミニ講座】「祇園祭のルーツを探る」

7/6(土) 10時～11時 定員：20名(先着順) ※入館料のみ必要

原田二郎旧宅 絵葉書から見る近代の松阪 令和6年4月23日(火)～8月25日(日)

私製はがきの使用が認可された明治33年(1900)以降、様々な絵葉書が作られ、松阪の風景、建物、名勝を写した絵葉書も発行されました。本企画展では、大正・昭和にかけて発行された松阪ゆかりの絵葉書を通して近代の松阪の様子をご紹介します。

【学芸員による展示解説】

6/1(土)、8/10(土) 11時より15分程度

【ミニ講座】「絵葉書から近代の松阪を見てみよう」

6/1(土) 10時～11時 定員：15名(先着順) ※入館料のみ必要



【殿町之景】
明治末～大正中頃

江戸時代は武士が居住していた殿町(旧同心町)を写した絵葉書。殿町は、現在も原田二郎旧宅などの武家屋敷が残っており、この絵葉書のような名残が残る。

おしらせ

◆旧家で聴く蓄音機の音色 ～五輪(オリムピック)とSP盤(レコード)～

はせがわ

ロサンゼルス五輪(1932年)の選手応援歌やベルリン五輪(1936年)での名実況「前畑がんばれ!」を収録したSP盤を蓄音機で聴いてみませんか!?今年開催されるパリ五輪の前に、長谷川家で一足先に五輪気分を味わいましょう。

日時：6月30日(日) 13時30分～15時

場所：旧長谷川家

定員：25名(予約制・先着順)

参加費：無料 ※入館料のみ必要

お申込：右のQRコードから(電話も可)



◆災害に関する古文書・古記録を読んでみよう

おつ

商家(旧長谷川治郎兵衛家)に残る古文書や古記録に記されたくずし字を味読して当時の災害の様子を見ていきます。くずし字が読めない方も大歓迎です!お申込みは下記QRコードもしくは下記連絡先へご連絡ください。

日時：5月28日、6月25日、7月23日、8月20日、9月24日(すべて火曜日)の全5回

いずれも 10時からの1時間30分程度

場所：旧小津清左衛門家 向座敷

定員：15名(予約制・先着順)

資料代：500円(全5回分)



◆綿の種プレゼント!

はせがわ

おつ

はらだ

旧長谷川治郎兵衛家の庭で育てた綿の種を配布いたします。5月に種まきすると、秋にはかわいいコットンボールが開きます。
・配布期間 令和6年4月1日(月)～ ※なくなり次第終了します。
・配布場所 旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅



公式LINEアカウントができました!



イベントや施設の展示案内などを定期的にご案内します。ぜひ右上のQRコードから友だち追加をお願いします。